

とちぎ県民の食事

～高い健康志向～

平成16年全国消費実態調査で、食料費の1か月の支出額全国ランキングが、上位5位以内に入る品目を全てまとめてみました。これを見ると、ヨーグルト、おから・湯葉等の大豆製品、納豆、飲物では茶飲料、果実・野菜ジュース、乳酸菌飲料など、健康に良いと言われている食品への支出が多いことがわかります。

その支出額や、支出額全国ランキングの動きにも注目しましょう。平成17年2月に「保健機能食品制度」が見直され、「特定保健用食品」や「栄養機能食品」の表示内容が充実するとともに、多くのヨーグルト、乳酸菌飲料、酢等が「特定保健用食品」に指定されましたが、これに先駆け、栃木県では、ヨーグルト、乳酸菌飲料、酢への支出が増え、支出額全国ランキングも一気に上昇しました。栃木県民の健康に関する食品への関心の高さがうかがえます。(図1)

栃木県政世論調査では、「今後の暮らしで力を入れる点」の問いに、男女とも半数以上の方が「健康づくり」をあげ、毎年トップになっています。(以下、家族との団らん、仕事、趣味・スポーツ等の順) 更に、「健康維持のため気をつけること」の問いでは、1位「三度の食事」、2位「栄養バランス」(以下、適度な運動、規則的な生活、睡眠等の順)と、“健康づくりにおける食の大切さ”を多くの方が意識しています。

このように県民は高い健康意識をもって、日頃の食事に健康に良い食品を積極的に取り入れ、健康づくりに役立てている姿がみられます。

指 標 名		指標値	順位	全国
1	ヨーグルト	783円	1位	606円
2	めん類	1,528円	2位	1,347円
3	他の魚介加工品	897円	2位	703円
4	茶飲料	549円	2位	406円
5	他の大豆製品	98円	2位	58円
6	納豆	482円	3位	325円
7	果実・野菜ジュース	1,027円	4位	875円
8	野菜の漬物	962円	4位	808円
9	他の穀類	363円	4位	319円
10	果物加工品	116円	4位	104円
11	乳酸菌飲料	331円	5位	255円

※ 1～11 平成16年全国消費実態調査〔二人以上全世帯、食料費の1か月の支出額〕(総務省統計局)

用語の解説

- 他 の 大 豆 食 品 = おから、生・干ゆば、きな粉、凍豆腐等
- 他 の 魚 介 加 工 品 = かつお節、魚介類のみそ漬・粕漬・みりん漬、缶詰・瓶詰等
- 他 の 穀 物 = 小麦粉、天ぷら粉、上新粉、白玉粉、もち、パン粉、ホットケーキの素等
- 果 物 加 工 品 = 果物の缶詰・瓶詰、干ぶどう、アーモンド等の木の実、ぎんなん、果物砂糖漬等

図 1 1 か月当たりの支出額及び支出額全国ランキング

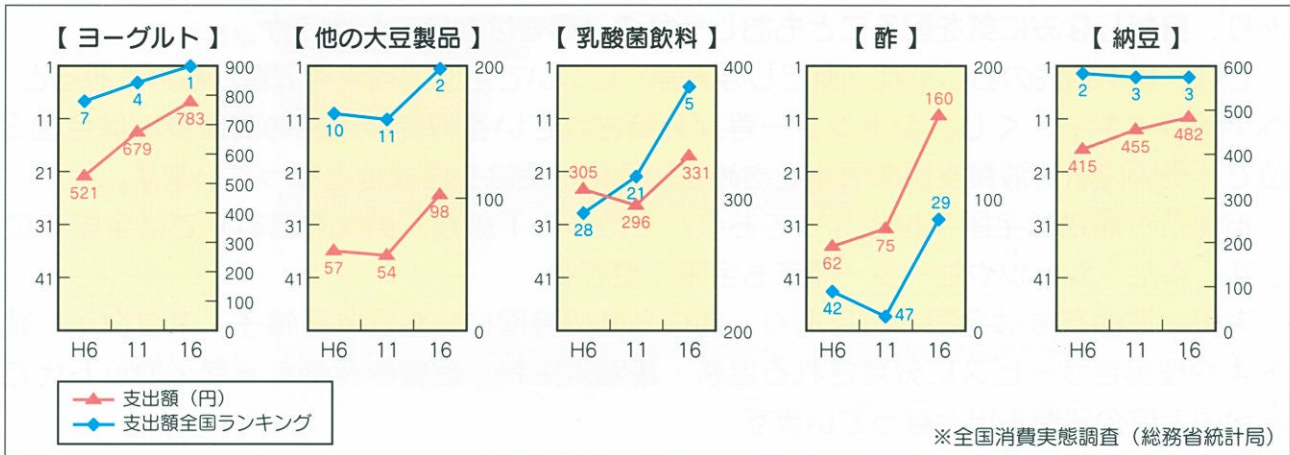


表 1 都道府県庁所在市別、年間支出額全国ランキングベスト 3

全国順位	主な品目及び支出額 [() 内は全国平均支出額]					
1 位	ぎょうざ	4,886 円	(2,295 円)	カツレツ	2,994 円	(1,720 円)
	せんべい	7,598 円	(5,006 円)	サラダ	4,280 円	(2,834 円)
2 位	ようかん	1,720 円	(835 円)	干しのみ	4,439 円	(2,850 円)
	だいこん	2,578 円	(1,958 円)	みかん	6,591 円	(5,049 円)
3 位	外食そば・うどん	9,090 円	(5,341 円)	まぐろ	10,745 円	(6,959 円)
	乳酸菌飲料	4,520 円	(3,109 円)	わかめ	2,219 円	(1,627 円)
	外食すし	18,768 円	(14,388 円)	茶類	16,834 円	(13,213 円)

上記は、家計調査結果によるもので、全国消費実態調査に基づく指標のランキングとは異なります。

※平成 16～18 年平均 家計調査都道府県庁所在市別ランキング（総務省統計局）

トピックス - 2月に増える「だいこん」への支出-

1世帯当たりの1か月の「だいこん」の支出額を月別にみると、全国的には9月から10月が最も多くピークとなります。（さんま効果?!）

ところが、宇都宮の支出のピークは2月と10月。・・・そう、2月は栃木の代表的な郷土料理「しもつかれ」の季節。家計調査では「もらいもの」についても調査していますが、この時期「もらいもの」にしもつかれがよく登場します。

『7軒の家のしもつかれを食べると中風（脳卒中）にならない』という言い伝えもあり、昔は隣近所でももつかれを交換しあいました。もしかすると、そんな風習がまだ残っているのかもしれないね・・・。

※平成 18 年家計調査（総務省統計局）